

ます 校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和8年度 東中だより 第6号	発行日	令和8年6月29日
教育目標	多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【努力は人生を豊かにする】

雨の日は憂鬱になりがちですが、「雨に咲く紫陽花がきれいだな」と目を向けると、心がふっと軽くなり、自然と元気が湧いてきます。また、忙しい毎日でも、「人から頼られている証」と考えれば、「忙しいことはありがたい」と思えるようになります。人の感じ方や物事の捉え方は、ほんの少し意識を変えるだけで、やさしく広がっていくものです。

今、子どもたちは最後の総体に向けて、一生懸命努力を重ねています。現在、FIFAワールドカップは、日本の活躍により大いに盛り上がっています。私は、日本代表26人が発表された際、森保一監督が目潤ませていた姿が大変印象に残っています。選手一人ひとりの思いを受け止めながら決断する、その重さが伝わってきました。

私自身も、子どもたちが部活動に真剣に取り組む中で、誰をメンバーに選ぶのか決めることは、想像以上に苦しく悩みの連続でした。特に、あと一步でメンバーに届かない選手を外さなければならない時、その決断の重さを強く感じました。勝負の世界では、厳しい選択をしなければならない場面があります。その一つひとつの決断には、子どもたちの努力や思いが詰まっています。今回、メンバーに選ばれた人も、選ばれなかった人も、それぞれが自分の役割を大切にしながら、最後まで頑張ってもらいたいと願っています。

さて、今回は「努力」について述べます。努力とは、ただ単に苦しいものではありません。元陸上競技選手で、オリンピックに3大会連続出場された為末大さんは、「スタープレイヤーは努力を努力と思わず、努力そのものが楽しいという星のもとに生まれてきていることがほとんどだ」と述べています。そこには、苦しさや辛さではなく、純粋な楽しさがあると述べられています。また、プロゴルファーの松山英樹選手は、「才能は有限、努力は無限」と語り、努力によって才能の不足を補うことができると述べています。



柔道の野村忠宏さんは「努力に勝る天才なし」という言葉をよく使われます。「天才だから勝てた」のではなく、誰よりも努力し続けたからこそ、結果を出し、前人未踏のオリンピック3大会連続で金メダルを獲得することができました。もちろん、努力すれば必ずしも成功するとは限りません。しかし、多くの一流選手は、努力することの大切さを楽しみながら語っています。

企業の世界でも、イーロン・マスク氏は「努力は才能を超える」と述べ、京セラとKDDI (au) の創業者である稲盛和夫氏も「人生で一番大切なのは目の前のことに一生懸命努力すること。とにかく逃げずに努力しなさい」と語っています。

さらに、「日本資本主義の父」と言われる渋沢栄一は、成功や失敗にとらわれるよりも、目の前のことに全力で取り組む大切さを説きました。文豪ゲーテは、迷うこと自体が努力している証だと述べています。これは、結果だけでなく、努力の過程そのものが人を成長させるということです。一流選手や歴史に名を残した偉人たちは、誰も見ていないところでも妥協せず、努力を積み重ね、自分という「根っこ」を太くしてきたはずです。「流した汗は嘘をつかない」「努力は裏切らない」という言葉は、まさにその通りだと思います。そして、ぶれない「根っこ」を太く育てていけば、その強さはやがて自分だけでなく、周囲の人をも支える力になると信じています。



また、努力は若い時だけのものではなく、人生のどの段階でも意味を持ち続けるものです。大きな努力をしなければならないと思いがちですが、本当に大切なのは、当たり前なことを当たり前続けることだと思います。

保護者の皆様には、試合の結果だけでなく、そこに至るまでの子どもの努力や工夫に目を向けていただきたいと思います。「よくここまで頑張ったね」「最後まで諦めずに粘れたね」など、努力した行動を具体的に褒めてあげてください。これにより、子どもたちは、これから困難に直面しても失敗を恐れず、新しいことに挑戦する意欲を高めていくことと思います。失敗や敗北は、成功や成長への大切なステップです。自分を信じ、人を信じて、目の前のことに果敢に挑戦していく力が育まれるのではないのでしょうか。誠実に努力する人を天も人も見捨てることはないとは私は信じています。

一方で、苦労した経験は人を強くします。厳しい環境で育った木が強い根を張るように、困難を乗り越えた経験は、簡単には折れない力となります。部活動を通して、「勝つ喜び」「目標への達成感」「負けた悔しさ」「挫折を乗り越える経験」「仲間との絆」「礼儀」「体力の向上」「人間性の成長」など、多くの貴重な価値を得てきました。

結局のところ、努力とは結果のためだけにあるものではなく、自分自身を深く、強く育てるものです。どんな場所でも、自分なりに根を張り、迷いながらも歩み続けることこそが、人生を豊かにしていくのだと思います。頑張れ 東中生！

『努力が力をつける。続けることが信用を生む。腹が立つことを我慢してこそ人間ができる』

【自転車教室を開催しました】

すこやかネット TM2 主催の「自転車教室」を開催いたしましたところ、44名の保護者、地域の皆様にご来校いただきました。ご参加いただき、誠にありがとうございました。本校では、市教育委員会のご協力のもと、毎年1年生対象の「自転車教室」を実施していただいております。部活動の地域展開が始まる中、交通事故のリスクの増加も懸念されています。子どもたちはもちろんのこと、私たち大人も含め、改めて交通ルールを守る意識を高め、安全な生活を心がけていきましょう。

※ 当日の様子は、ベイコムで放映されます。

令和8年7月3日(金)～9日(木) 平日 11:00～ 16:00～ 22:30～

休日 7:00～ 13:00～ 22:30～